

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	乳児院 栄光園
------	---------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和4年3月5日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 栄光園 乳児院 栄光園	種 別：乳児院
代表者氏名：理事長 江口敏一	定員（利用人数）20名（16名）
所在地：〒874-0904 別府市南荘園町3組 TEL：0977-21-8085	

④総評

◇評価の高い点

【経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。】

経営上の課題を解決していくため、毎月1回の職員会議、グループ会議において、職員の意見を聞いたり、職員同士の検討の場を設定している。児童福祉法の改正を踏まえ計画された、大分県社会的養育推進計画の内容を十分理解し、課題であった施設整備や今後の乳児福祉の方向性を分析し、乳幼児総合支援センター化へ向けて具体的な取組を進めている。

【地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。】

法人は地域支援活動として「集いの場くるみ」を実施。交流活動や子ども食堂等の活動が行われている。また、県内社会福祉施設により組織する「大分くらしサポート事業」に参画している。法人内の乳児院についても、関係機関と連携して生活困窮者支援を積極的に進めている。

【子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。】

法人全体で実施する基本的人権への配慮や権利擁護の研修に加えて、第三者による乳幼児のアドボケイトの在り方の研修を行い、子どもの意思を大切にした取組が行われている。

【子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。】

子どもの尊重や基本的人権への配慮について、年に最低1回は子どもの人権研修を実施し、第三者による乳幼児のアドボケイトの在り方の研修も行っている。また、グループ会議や職員会議等での確認や、毎月、全職員が「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」や「不適切な関わりのチェックリスト」を記入するなど、具体的に取り組む体制が整備されている。

【栄養管理に十分な注意を払っている。】

食事摂取基準に基づいた旬の食材を組み合わせたバランスの良い献立の作成がされており、毎食の残菜量や、個々の嗜好状態を把握し、行事食や献立作成に反映している。さらに、院内で育てた野菜を子ども達自身で自由に収穫し、食事に取り入れる事で発達に応じたかかわる機会に工夫がなされ興味関心に繋がっている。

◇改善を求められる点

【職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。】

目標管理制度は、施設（法人）の理念・基本方針をはじめとする施設の全体目標や部門（チーム）、さらには、職員一人ひとりの目標の統合を目指す仕組みです。職員一人ひとりの知識・経験等に応じて具体的な目標を設定しながら、養育・支援の実施を行うものです。職員の教育・研修機能を有するのみならず、モチベーションを高めるための取組でもあることから、今後、法人本部での検討を期待する。

【保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。】

保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく工夫した内容の文書を作成することを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、当施設は3回目の第三者評価を受審させていただきました。客観的な評価に基づく乳幼児養育・支援の結果を真摯に受け止め、子どもたちが記憶にとどめることのない愛着形成の大切な時期の子育てであることを自覚し、サービスの質の向上を目指して、全力で取り組みたいと考えております。

また、この評価の機会を日々の業務改善を振り返る絶好の機会と捉え、さらなる地域の子育て支援の核となる新たな取り組みへと繋げていきたいです。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）